

- 問1 7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 大海人皇子                      2. 中臣鎌足                      3. 中大兄皇子                      4. 聖徳太子
- 
- 問2 663年の白村江の戦いにおいて、倭（日本）は百済の復興を支援しましたが、唐・新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗北を受け、大宰府周辺の守りを固めるために佐賀県に築かれた「基肄城（きいじょう）」などの山城には、どのような背景や目的がありましたか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島への再出兵を計画するための軍事訓練施設として、大陸に近い九州北部の山岳地帯に兵力を集結させる目的。                      2. 仏教による国家の鎮護を目的として、大宰府を望む山の上に広大な寺院や仏塔を建設し、外敵を退散させる祈祷を行う目的。                      3. 租・庸・調などの重い税負担に苦しんだ農民たちの反乱を鎮圧し、大宰府の役人が地方を監視する拠点とする目的。                      4. 唐や新羅による日本本土への侵攻という国家的危機に備え、九州の政治・外交の拠点である大宰府を防衛する目的。
- 
- 問3 聖徳太子が定めた「冠位十二階」という制度は、それまでの豪族が家柄によって高い官職を独占していた政治の仕組みをどのように変えようとしたものですか。その意図として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった仏教を広めるために、僧侶に対して特別な色の冠を授けようとした                      2. 地方の反乱を抑えるために、武力に優れた人物へ征夷大將軍の称号を与えようとした                      3. 有力な豪族に対して、先祖代々の功績に基づき永久に高い位を保証しようとした                      4. 家柄に関わらず、個人の才能や功績に応じて役人を登用し、天皇中心の政治体制を整えようとした
- 
- 問4 飛鳥時代の対外関係について記した記録において、小野妹子が遣隋使として派遣された際、日本（倭）が隋に対して求めた外交上の姿勢や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での戦いを有利に進めるための軍事支援を依頼すること                      2. 仏教を日本へ正式に伝来させるための許可を得ること                      3. 中国の皇帝から倭王としての称号と金印を授かること                      4. 中国の皇帝に対し、対等な地位での外交関係を求めること
- 
- 問5 7世紀前半に法隆寺の造営や釈迦三尊像の制作が行われた背景として、当時の政治的な動きを説明したものとして適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 班田収授法によって税収が安定したため、大規模な国立の寺院を全国に建立した。                      2. 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。                      3. 遣唐使が廃止され、日本独自の文化を形成しようとする機運が貴族の間で高まった。                      4. 白村江の戦いでの敗北後、国防を強化するために寺院を砦として活用しようとした。
- 
- 問6 7世紀の朝鮮半島および東アジアの情勢において、日本が百済を支援して白村江の戦いに参戦した経緯を説明したものとして、正しいものはどれか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 高句麗が唐と結んで南下したため、日本は百済と新羅の双方を守るために大規模な軍を派遣した                      2. 唐と新羅が同盟を結んで百済を滅ぼしたため、日本は旧来の同盟関係に基づき百済の復興を支援した                      3. 新羅が唐を裏切って日本に助けを求めたため、日本は百済の遺臣と共に新羅を支援した                      4. 隋が百済を圧迫したため、聖徳太子は小野妹子を派遣して百済への軍事的支援を約束した
- 
- 問7 6世紀半ば、朝鮮半島南西部に位置していた国から、日本へ釈迦如来像や經典が贈られたことで、仏教が公式に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 新羅                      2. 高句麗                      3. 百済                      4. 渤海
- 
- 問8 663年、倭（日本）は滅亡した友好国を復興させるため、朝鮮半島の白村江へ大規模な水軍を送りました。この戦いにおいて、日本・百済遺臣の連合軍が対戦した相手となる2つの国の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 唐と高句麗                      2. 唐と新羅                      3. 元と高麗                      4. 隋と新羅
- 
- 問9 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子が、中国の進んだ制度や文化を取り入れるために派遣した使節の名称として正しいものを選択してください。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 遣隋使                      2. 遣新羅使                      3. 遣明使                      4. 遣唐使
- 
- 問10 聖徳太子が活躍した飛鳥時代初期の文化や制度に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。                      2. 個人の家柄を重視し、氏姓制度に基づいて特定の氏族が世襲で高い官職を独占した。                      3. 武士の心得を記した成文法が作られ、各地の守護や地頭がこれに従って土地を統治した。                      4. 漢文体による十七条の憲法に加え、律（刑罰）と令（政治規定）が同時に整備された。
- 
- 問11 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国（日本）は、大陸からの侵攻に備えて九州北部の防衛を強化しました。この際、軍事・行政の拠点であった大宰府を防御するために、その北側に築かれた大規模な土塁と水堀からなる防衛施設の名称を選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 前方後円墳                      2. 水城                      3. 環濠集落                      4. 板付遺跡
- 
- 問12 7世紀後半、天智天皇が亡くなった後に発生した「壬申の乱」の直接的な原因として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 大陸との国交を開きそうとする勢力と、積極的に文化を取り入れようとする勢力の外交方針の対立                      2. 地方で武士団が組織できるほどに成長し、土地の支配権をめぐる朝廷に反旗を翻したこと                      3. 天皇の死後、その皇位継承をめぐる親族や有力な一族の間で生じた対立                      4. 重い税や労役を課しながらも人々を救おうとしない役人の政治に対し、農民が結集して抵抗したこと
- 
- 問13 7世紀後半、大和政権が唐や新羅からの侵攻に備えて、主に東国から徴兵した兵士を九州北部の警備にあてた制度を何と呼びますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
1. 足輕                      2. 防人                      3. 衛士                      4. 健児
- 
- 問14 8世紀の初め、現在の群馬県にあたる地域に建てられた「多胡碑」には、朝廷の命令によって新たな郡が設置されたことが記されています。このように、唐の制度にならって定められた法律に基づき、地方の行政区画を整備することで形成された、天皇を中心とする中央集権的な国家の仕組みを何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 幕藩体制                      2. 封建国家                      3. 律令国家                      4. 守護・地頭制